

棚POWER[®]操作テキスト

データ移行編

2025年5月

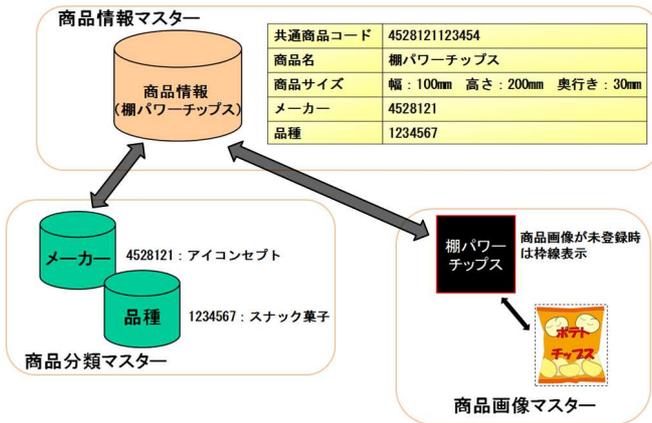


目次

1. データ移行について	1
2. データのエクспорт	2
出力データの選択	4
出力条件の設定	5
詳細設定－[商品分類]	9
詳細設定－[商品情報]	10
詳細設定－[商品画像]	11
詳細設定－[棚割モデル情報]	12
3. 「お気に入り」の設定・使用手順	13
4. 具体的なデータの出力例	14
新しく登録した商品データのみ他のパソコンに渡したい	14
棚POWERを使用している取引先に棚割モデルを渡したい	17
他社棚割ソフトを使用している取引先に棚割モデルを渡したい	20
棚割互換形式で取引先に棚割モデルと商品データを渡したい	22
5. データのインポート	23
詳細設定－[商品分類]	25
詳細設定－[商品情報]	26
詳細設定－[商品画像]	27
6. 登録している全データを別のパソコンに移行したい	28
バックアップデータの出力	28
バックアップデータの復元	30

■データ移行について

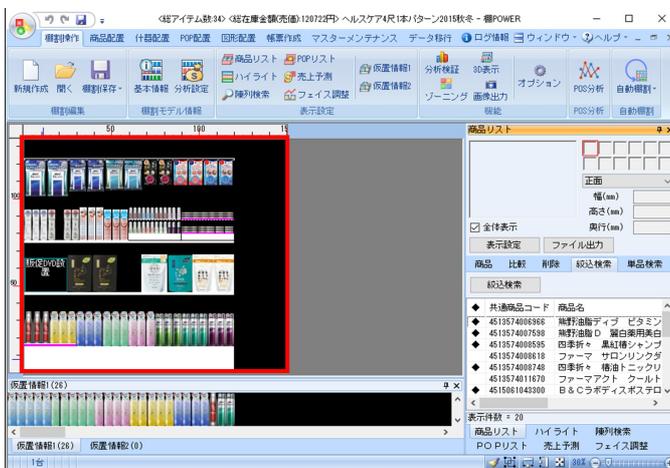
各マスター概要



1. 棚POWERで棚割編集作業を行なうためには、左図のように各マスターの登録が必要です。

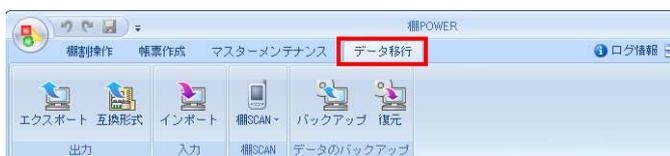
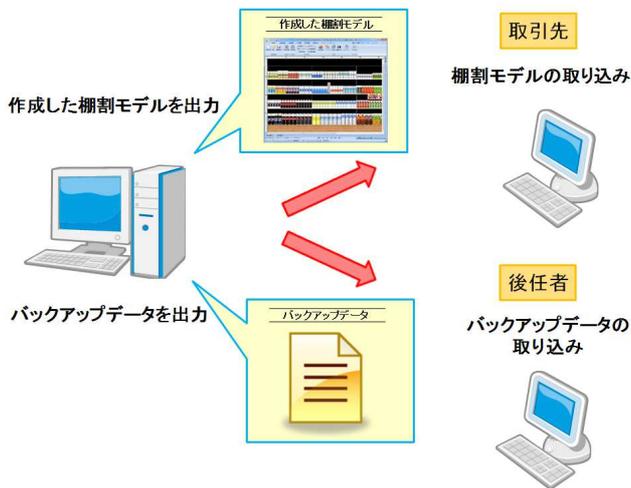
※マスターとは、「商品分類」「商品情報」「商品画像」など棚割を作成するために必要な基本データを指します。詳細は操作テキスト「マスターメンテナンス編」を参照ください。

2. 登録したマスターを使用して、棚割の作成が可能です。棚POWERでは棚割のことを棚割モデルと呼びます。



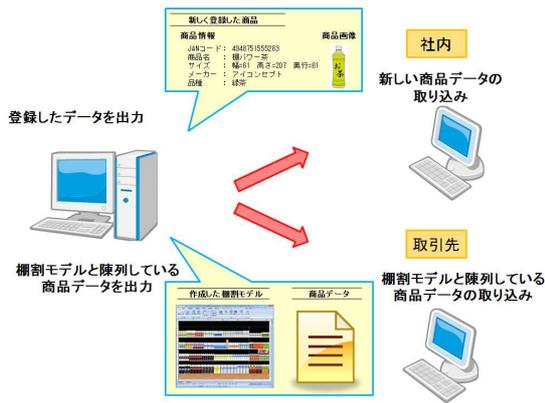
3. [データ移行]では棚POWERに登録している一部または全てのデータを出力（エクスポート）や、そのデータを取り込み（インポート）ができます。

例えば取引先に作成した棚割モデルを渡すことができるほか、棚割作成担当者の変更時にはバックアップデータを出力することで、棚POWERに登録されている全データを後任者にそのまま引き継ぐことも可能です。



4. 本テキストでは[データ移行]における各機能の説明を行なっていきます。

■データのエクспорт



棚POWERに登録しているデータの出力を行いません。

画面に沿って操作することで、他のパソコンに新しく登録したデータを渡したり、取引先に作成した棚割モデルと棚割モデルに陳列している商品のデータを渡したりと、条件を設定し希望のデータを出力することが可能です。

～エクソートの流れ～

エクспорт作業の大きな流れは下記になります。

①処理方法の選択

エクソートの処理方法を新たに設定する、もしくは過去に登録した条件を呼び出すか選択します。



②エクソート情報の選択

何のデータを出力するかを選択します。



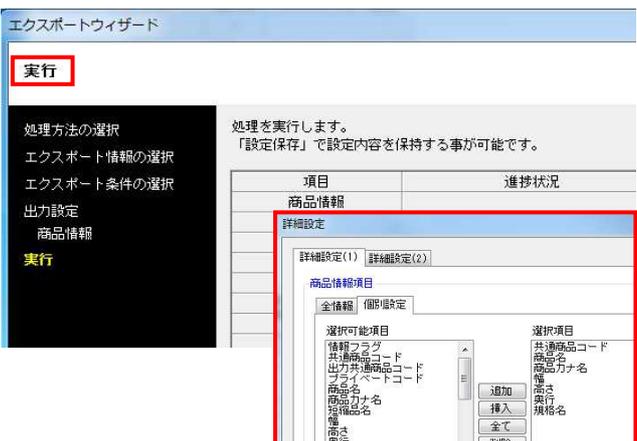
③エクソート条件の選択

上記②で選択したデータをどんな条件で絞り込むかを選択します。

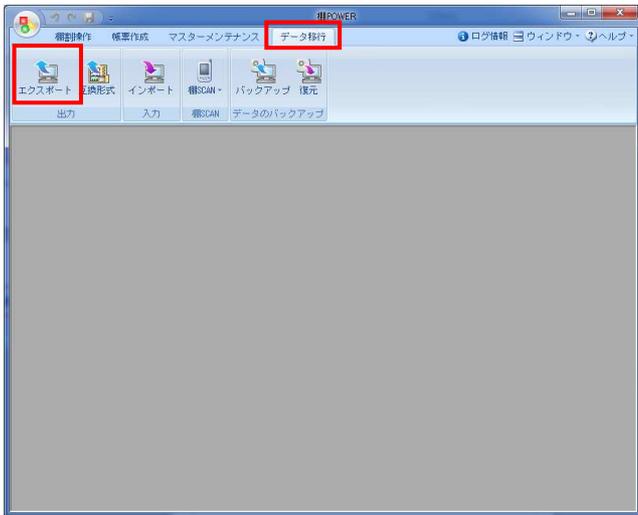


④実行

出力対象のデータをどのような形式で出力するか選択し、出力を実行します。



次ページからエクソートの手順を詳しく説明していきます。



1. ここから「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」の出力手順を説明します。

[データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。

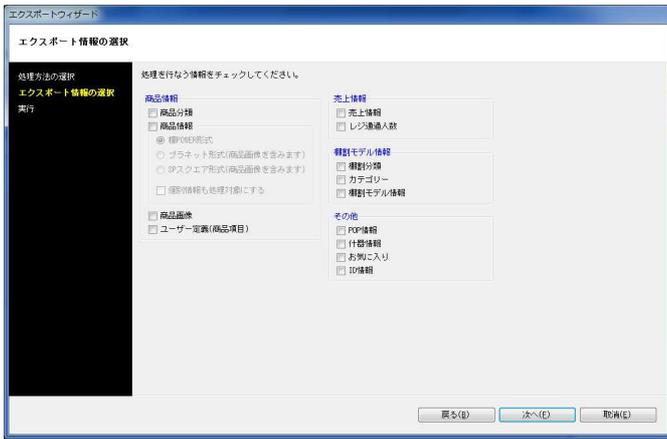


2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して、[次へ] をクリックします。

「お気に入り」を選択すると、過去に登録した条件を呼び出すことも可能です。

詳細はP. 13を参照してください。





3. [エクスポート情報の選択]より出力したい情報を有効にします。

各項目の詳細は下記の通りです。

「商品分類」

メーカーや品種など商品が属する情報

「商品情報」

商品名や商品サイズなどの商品の文字情報

- ・ 棚POWER形式
棚POWER同士でやり取りできる商品情報、商品画像
- ・ プラネット形式
他社棚割ソフトと互換性のある商品情報、商品画像
- ・ S Pスクエア形式
他社棚割ソフトと互換性のある商品情報、商品画像

「商品画像」

棚に陳列する商品の画像

「売上情報」

商品の売上金額や売上数量

「棚割分類」

店舗や企業など棚割モデルを管理するコード、名称

「カテゴリー」

登録している全商品の中における棚割に陳列する商品群

「棚割モデル情報」

作成した棚割の情報

「POP情報」

棚割画面上に貼り付ける販促物などのPOPの情報



4. 「商品分類」「商品情報（棚POWER形式）」「商品画像」「棚割モデル情報」のチェックボックスを有効にして、[次へ]をクリックします。



5. [エクスポート条件の選択]より、どのような条件で情報を出力するかを選択できます。
「個別に絞り込む」を選択し、[次へ]をクリックします。

各条件の詳細は下記の通りです。

「個別に絞り込む」

出力する情報ごとに個別に条件を設定できます

「全商品情報を対象とする」

登録している全ての商品の情報を出力できます

「商品分類で絞り込む」

メーカーや品種などを指定して情報を出力できます

「棚割モデル情報で絞り込む」

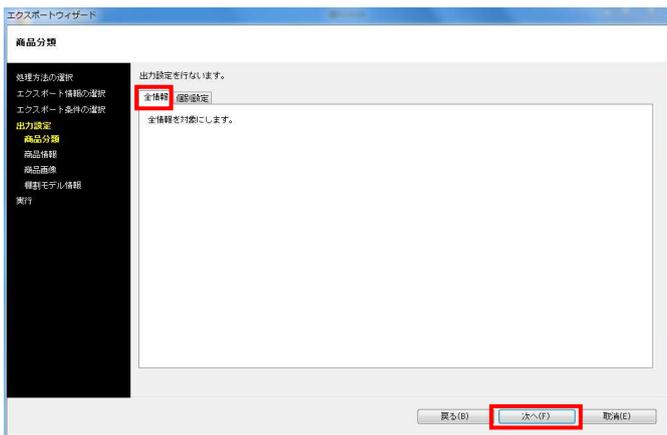
棚割モデルを指定して、その棚割モデルに含まれる情報を出力できます

「共通商品コードで絞り込む」

共通商品コードを直接指定して情報を出力できます

「カテゴリで絞り込む」

カテゴリグループを指定して、そのカテゴリグループに含まれる情報を出力できます



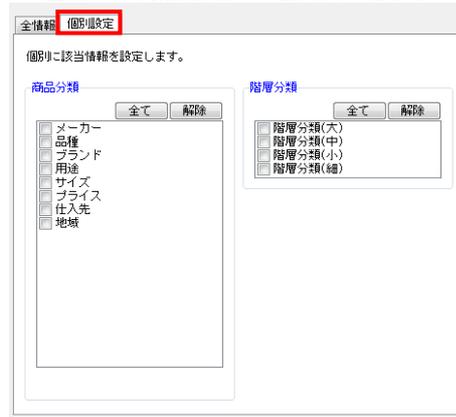
6. 商品分類の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

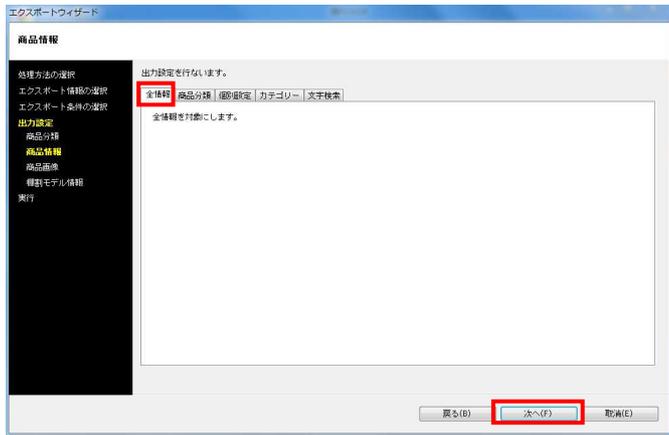
• 全情報

登録している全ての商品分類を出力できます

• 個別設定

選択した商品分類のみを出力できます





7. 商品情報の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

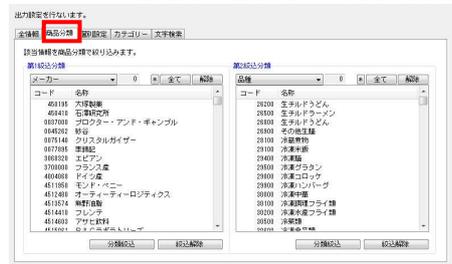
各条件の詳細は下記の通りです。

【全情報】

登録している全ての商品情報を出力できます

【商品分類】

メーカーや品種などを指定して商品情報を出力できます



【個別設定】

共通商品コードを直接指定して商品情報を出力できます



• **棚割モデル読込**

棚割モデルを指定して、棚割モデルに含まれる共通商品コードを呼び出すことができます

• **ファイル読込**

手持ちのExcelやCSVファイルから共通商品コードを呼び出すことができます

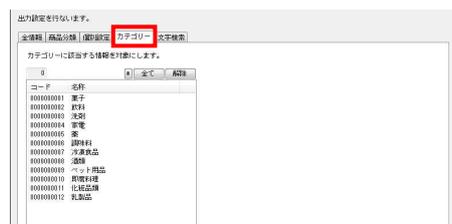
※A列にJANコードが記載されている必要があります

• **貼り付け**

Excelなどに記載された共通商品コードをコピーし、貼り付けることができます。

【カテゴリー】

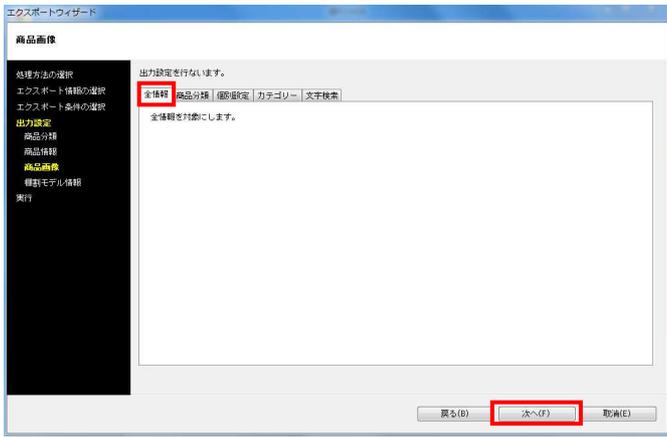
作成したカテゴリーグループを指定して、そのカテゴリーグループに含まれる商品情報を出力できます



【文字検索】

共通商品コードや商品名で検索した商品情報を出力できます





8. 商品画像の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

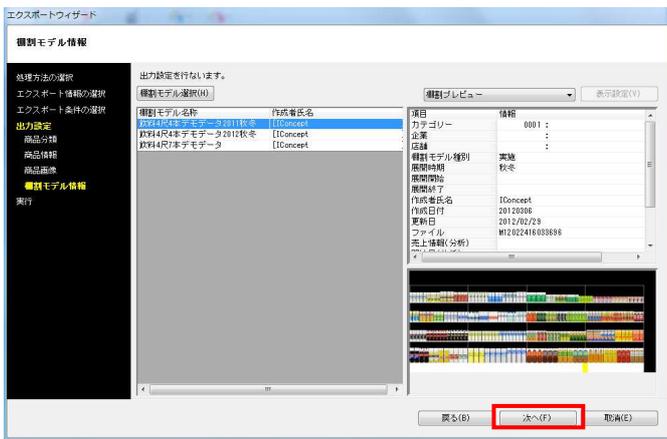
※各設定項目については商品情報と同様です。



9. 出力する棚割モデル情報を選択します。
[棚割モデル選択]から出力したいモデルを選び、
[選択]をクリックします。

棚割モデルの検索方法に関しては、
操作テキスト「棚割編集-基本編-」P.26を参照してください。

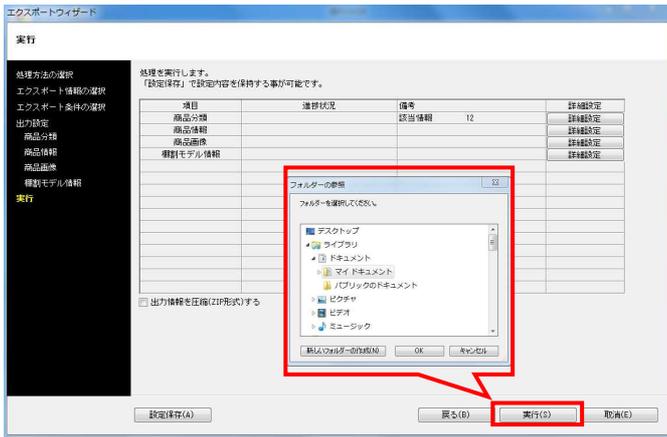
[次へ]をクリックします。



10. [詳細設定]で各情報をエクスポートする際の条件を詳しく設定
します。
各項目の設定が完了すれば [設定] をクリックします。

※各項目の[詳細設定]についてはP.9~12を参照してください。





11. [実行]をクリックし、フォルダーの参照画面より出力先フォルダーを指定して、エクスポートを実行します。

※「出力情報を圧縮（ZIP形式）にする」を有効にすると、出力データをZIP形式で圧縮します。

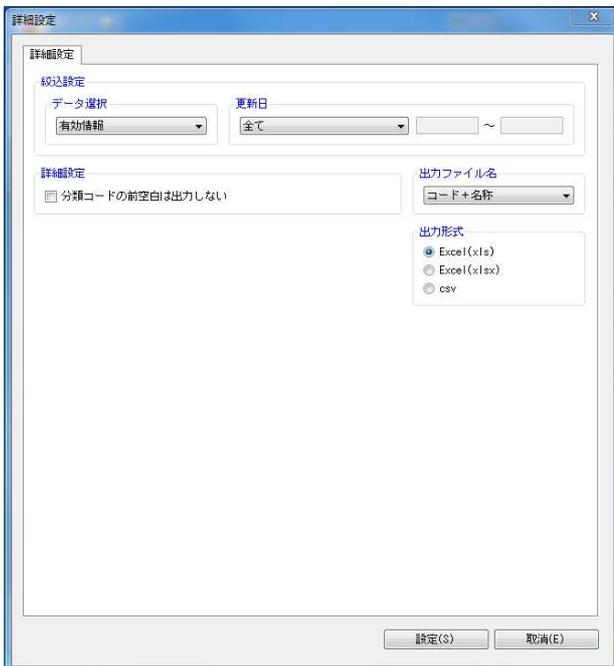
※[設定保存]にて設定内容を登録すれば、次回よりその設定を呼び出し使用できます。詳細はP.13でご紹介します。

12. これで棚POWERに登録されている「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」の出力ができました。

P.14からは使用シーンを想定しながら、データを出力する手順を説明します。

■エクスポート実行時の各[詳細設定]内容

商品分類－[詳細設定]



「データ選択」

有効情報、削除情報、全情報から選択できます

「更新日」

出力する期間を指定できます

- ・「全て」… 全期間
- ・「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- ・「本日」
- ・「昨日」
- ・「1週間」
- ・「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日（新規の場合）または更新された日です

「出力ファイル名」

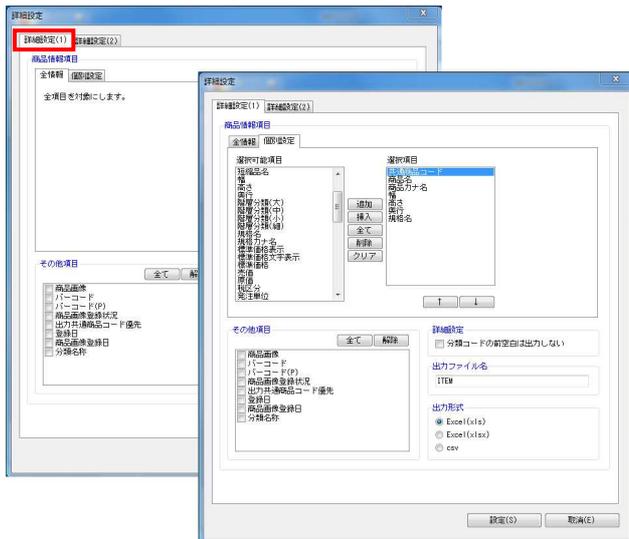
出力するファイル名を「（商品分類）コード」、
「（商品分類）コード＋（商品分類）名称」から選択できます

「出力形式」

出力するファイルの形式を選択できます

- ・ [Excel(xls)] … [Excel 97-2003]形式
- ・ [Excel(xlsx)] … [Excel 2007]以降の形式
- ・ [csv] … [csv]形式

商品情報－[詳細設定]



[詳細設定 (1)] タブ

「商品情報項目」

- 全情報
全商品情報項目を出力できます
- 個別設定
選択した商品情報項目のみを出力できます

「その他項目」

確認用として選択した項目を商品情報ファイル内に出力できません (※インポートはできません)

「出力ファイル名」

出力する商品情報のファイル名を設定できます

「出力形式」

出力するファイルの形式を選択できます



[詳細設定 (2)] タブ

「データ選択」

全情報、有効情報、削除情報から選択できます

「更新日」

- 出力する期間を指定できます
- 「全て」… 全期間
- 「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- 「本日」
- 「昨日」
- 「1週間」
- 「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日（新規の場合）または更新された日です

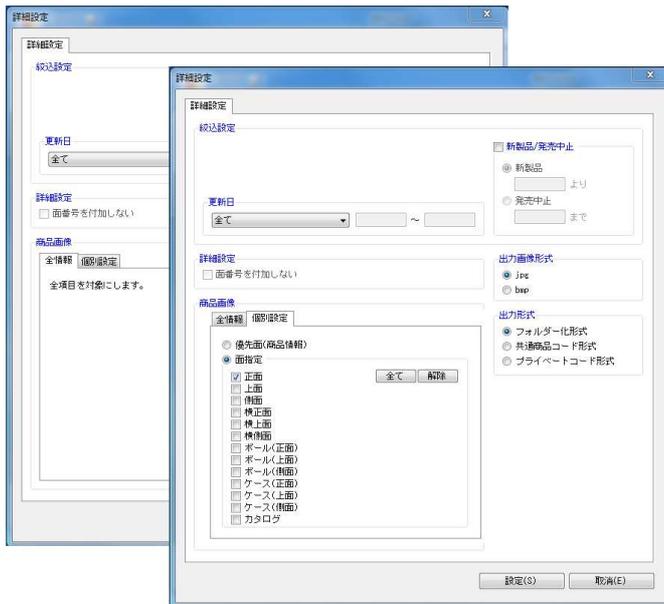
「詳細設定」

- 商品サイズが未設定の情報を対象にする
商品サイズの登録がない商品情報のみ出力できます
- 商品画像が未登録の情報を対象にする
商品画像が登録されていない商品情報のみ出力できます
- チェックデジットエラーの情報を対象にする
チェックデジットエラーの商品情報のみ出力できます
- 未登録商品分類を指定している情報を対象にする
分類マスターと商品情報マスターが一致していない商品情報のみ出力できます

「新製品/発売中止」

指定した日付と、商品情報の発売日/発売中止日の日付を基に、新製品/発売中止の商品のみ対象にできます

商品画像－[詳細設定]



「更新日」

出力する期間を指定できます

- 「全て」… 全期間
- 「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- 「本日」
- 「昨日」
- 「1週間」
- 「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日（新規の場合）または更新された日です

「新製品/発売中止」

指定した日付と、商品情報の発売日/発売中止日の日付を基に、新製品/発売中止の商品のみを対象にできます

「出力画像形式」

JPG, BMPから選択できます

「出力形式」

- フォルダー化形式
13桁JANコードの前7桁をフォルダー名、残りの6桁のコード + _(アンダーバー) + 面番号」をファイル名で出力できます
※「面番号」については操作テキスト「マスターメンテナンス編」P. 18を参照してください

- 共通商品コード形式
「共通商品コード + _(アンダーバー) + 面番号」のファイル名で出力できます

「商品画像」

- 全情報
登録している全ての商品画像（全ての面）を出力できます
- 個別設定
選択した商品画像の面のみを出力できます

棚割モデル情報－[詳細設定]



「詳細設定」

- 仮置き商品を保存する
有効にすると、仮置情報内に陳列している商品も棚割モデル情報に保持できます

- 分析情報を保存する
有効にすると、分析設定で設定した内容も棚割モデル情報に保持できます

「出力ファイル名」

- 棚割モデル名称
設定しているモデル名称をファイル名にして出力できます
- ファイル名
テキストボックスに入力したファイル名で出力できます

「ファイル形式」

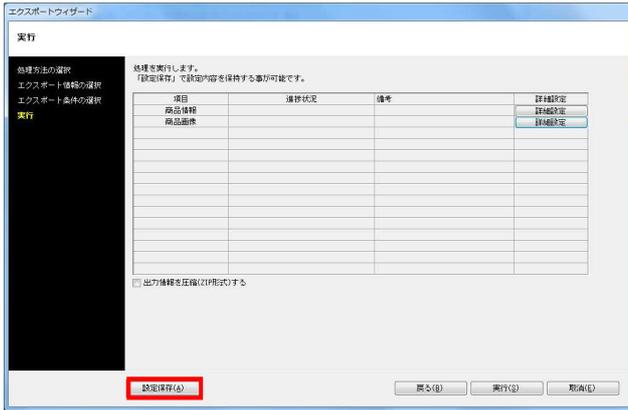
- 外部棚割モデル (*.*TPW)
棚POWER 独自の形式で、最も再現性が高く棚POWER 同士でやり取りする場合に使用します
- 外部棚割モデル (旧) (*.*MDL)
Ver17以前の棚POWER独自の形式で、先方がVer17以前の棚POWER利用時に使用します
- 棚割互換形式 (*.*CSV)
棚POWER、店POWERほか、棚割リンク、StoreManager (GXシリーズ)間でデータ連携を可能にしたフォーマットです。
- 棚割配置情報 (PTS) (*.*CSV)
棚割ソフト間のデータ連携を可能にした共通のフォーマットです
Ver1.0…商品が棚のどの位置にあるかの配置場所や、フェイス数などの「配置情報」に対応

Ver2.0…「配置情報」に加え、「台情報」「棚情報」(什器のサイズ)などに対応

Ver3.0…Ver2.0に加え、手前挿入や別商品積上などの再現に対応

※各PTSのバージョンはフォーマットが異なるため、他社棚割ソフトの対応バージョンを確認してください
- 陳列状況
棚POWER独自の形式で、台段列などの陳列データです(什器の情報は持っていません)

■ 「お気に入り」の設定・使用手順

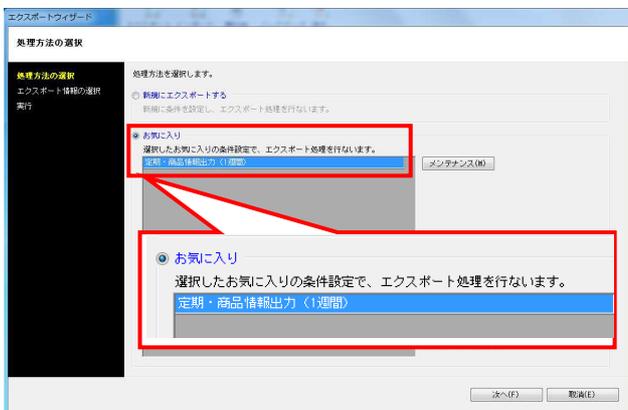


1. エクスポート時に設定した内容は、「お気に入り」として保存することができます。
保存した設定内容は、次回エクスポートする際に呼び出して使用できるため、同じ設定で定期的に出力する場合などに活用すれば、作業を軽減できます。

[設定保存]をクリックします。

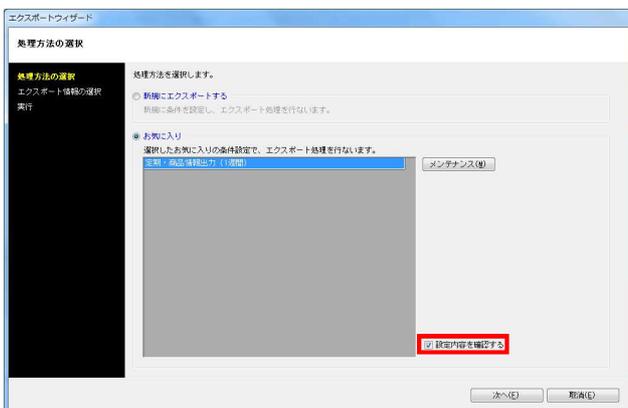


2. テキストボックスに名称を入力し、[登録]をクリックします。



3. 登録した設定を使用してデータを出力します。
[処理方法の選択]画面にて、「お気に入り」を選択します。

「お気に入り」の一覧より、使用する設定を選択し、[次へ]をクリックします。実行画面まで移動するので、特に設定を確認、変更する必要がなければそのまま実行します。

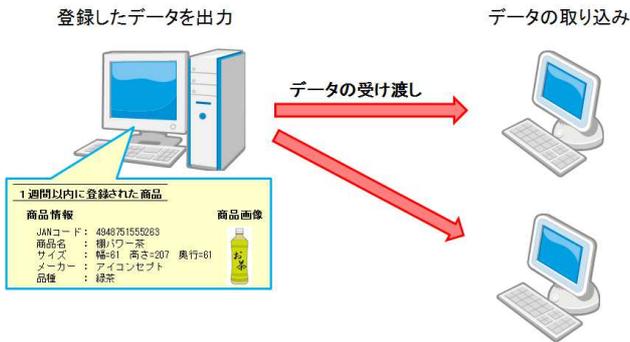


4. 設定内容を確認してから出力したい場合は、「設定内容を確認する」を有効にします。

有効にすると、設定内容を確認し出力することが可能です。

■新しく登録した商品データのみ他のパソコンに渡したい

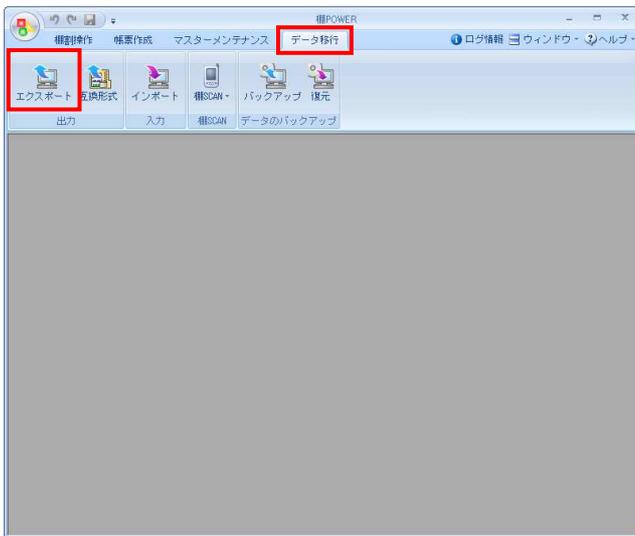
例) 1週間以内に登録した商品データを他のパソコンに渡したい



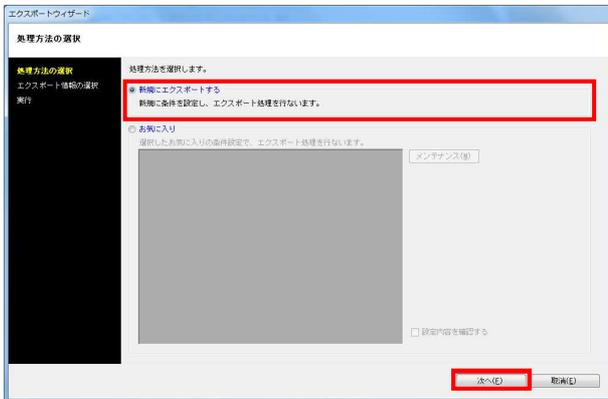
棚POWERではデータを登録した期間を指定して出力することができます。

社内でデータを共有している場合、毎回登録している全商品のデータを渡すのではなく、例えば「最近1週間以内に登録した商品データ」というように任意で期間を指定して出力が可能です。出力するデータを最小限にすることでファイルサイズが抑えられ、出力や取り込みにかかる時間を短縮できます。

今回は1週間以内に登録した商品情報、商品画像のみ出力する手順を説明します。



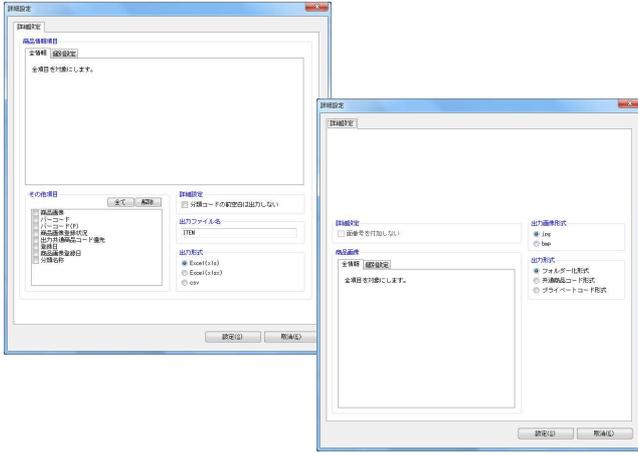
1. [データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。



2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して[次へ]をクリックします。



3. 「商品情報(棚POWER形式)」「商品画像」を選択して、[次へ]をクリックします。

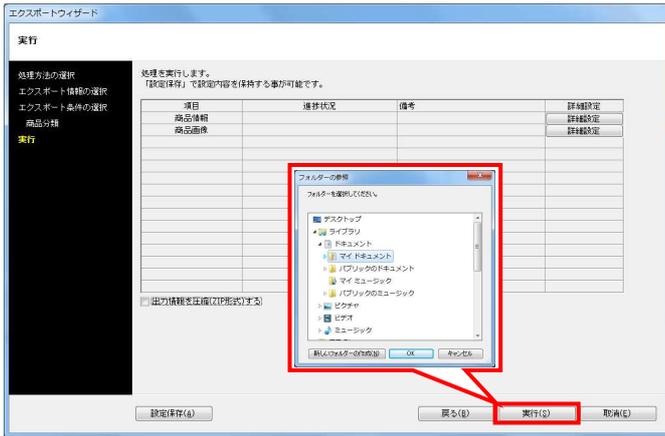


8. 今回は初期値のまま下記にて設定します。

商品情報項目：全情報
出力形式：Excel (xls)

商品画像：全情報
出力画像形式：jpg
出力形式：フォルダ一形式

※詳細はP. 10～11を参照してください。

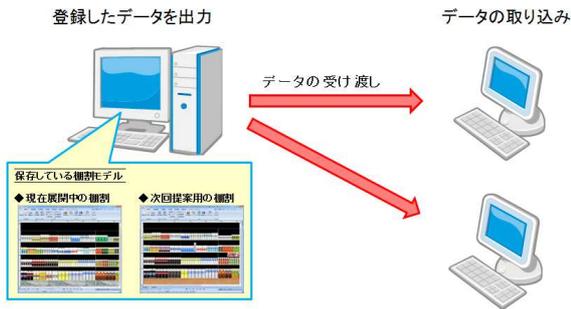


9. [実行]をクリックし、フォルダの参照画面より出力先フォルダを指定して、エクスポートを実行します。

これで1週間以内に登録した商品情報、商品画像のみ出力ができました。

■棚POWERを使用している取引先に棚割モデルを渡したい

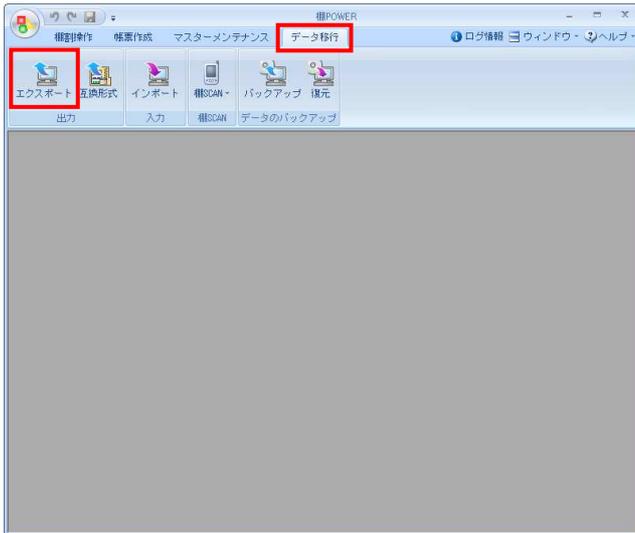
例) 棚POWERを使用している取引先に棚割モデルを渡したい



棚割モデル情報を渡すことで、取引先でも棚割を再現し、編集作業をすることができます。

また棚割モデル情報は「配置情報（陳列データ）」となるため、商品も含めて棚割を再現するためには商品情報や商品画像を同時に出力する必要があります。

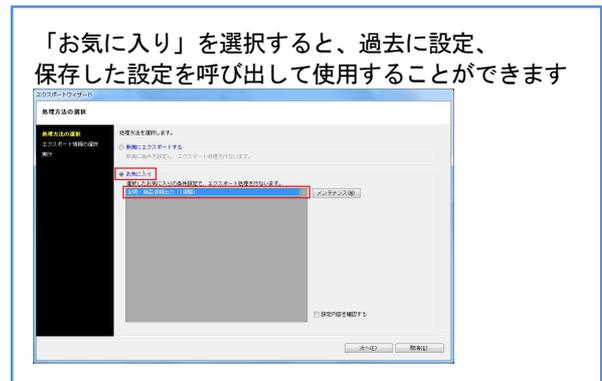
今回は取引先に渡す棚割モデルと陳列商品のデータを出力する手順を説明します。



1. [データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。



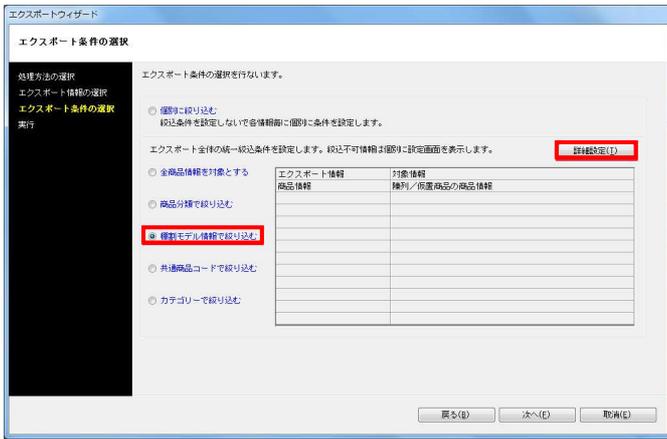
2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して「次へ」をクリックします。



詳細はP. 13を参照してください。

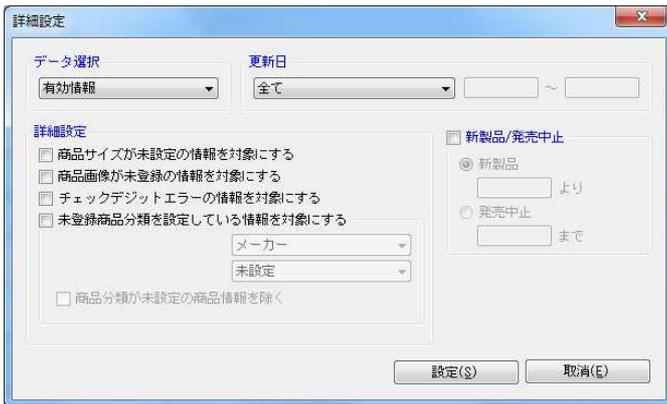


3. 「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」を選択して、「次へ」をクリックします。



4. [エクスポート条件の選択]より、「棚割モデル情報で絞り込む」を選択します。

[詳細設定]よりエクスポートする際の条件を設定します。



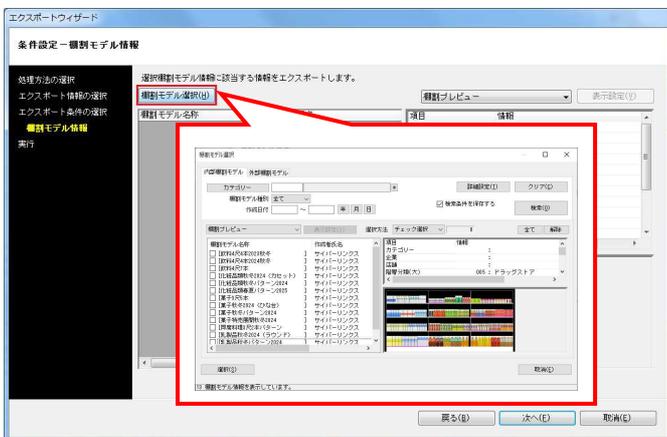
5. 今回は特に条件は必要ないので、初期値のまま下記にて設定します。

データ選択：有効情報
 更新日：全て
 詳細設定：全て無効
 新製品/発売中止：無効

詳細についてはP. 10を参照してください。



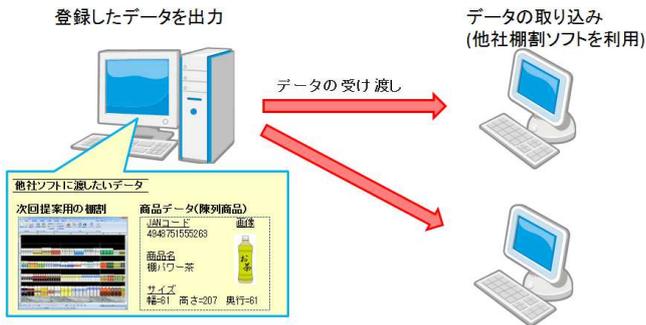
6. [次へ] をクリックします。



7. [棚割モデル選択]から出力したい棚割モデルを選択して、[次へ]をクリックします。

■他社棚割ソフトを使用している取引先に棚割モデルを渡したい

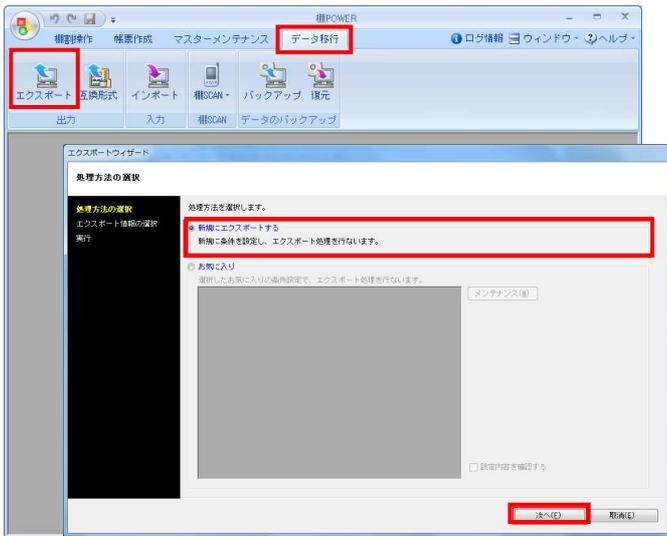
例) 他社棚割ソフトを使用している取引先に棚割モデルを渡したい



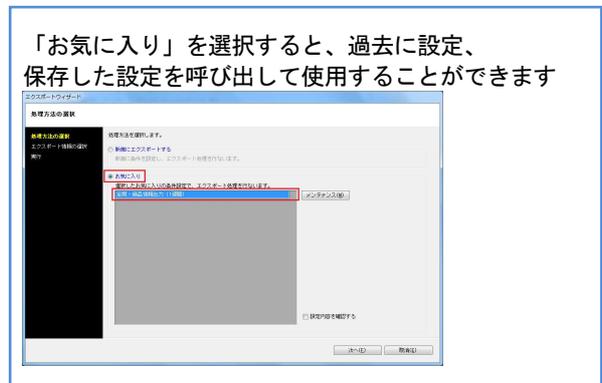
棚POWER以外の棚割ソフトを使用している取引先にも、棚割モデル情報を渡して棚割を再現することができます。

先方と同じ商品データが登録されていない場合は、商品データも一緒に渡す必要があります。

棚POWER同士でやり取りするデータ形式のままでは、棚割モデル情報、商品データ共に再現できません。今回は他社棚割ソフトを使用している取引先でも再現できる棚割モデル情報と陳列商品のデータを出力する手順を説明します。



1. [データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。
2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して[次へ]をクリックします。

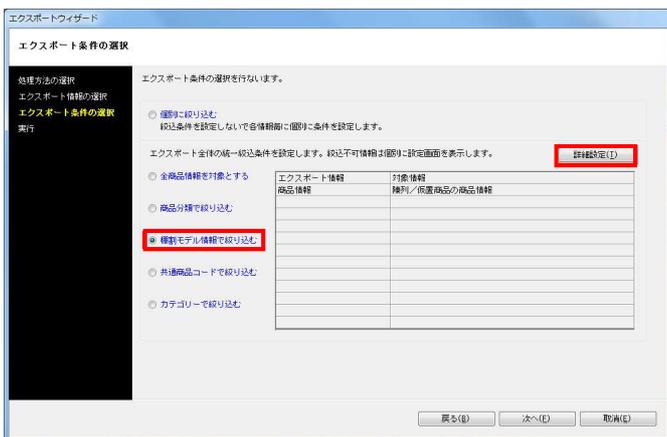


詳細はP. 13を参照してください。



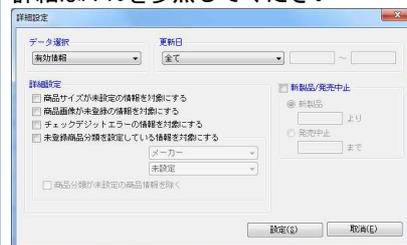
3. 「商品情報－プラネット形式」「棚割モデル情報」を選択して[次へ]をクリックします。

※プラネット形式とSPスクエア形式は、他社棚割ソフトと互換性のある商品情報、商品画像です。

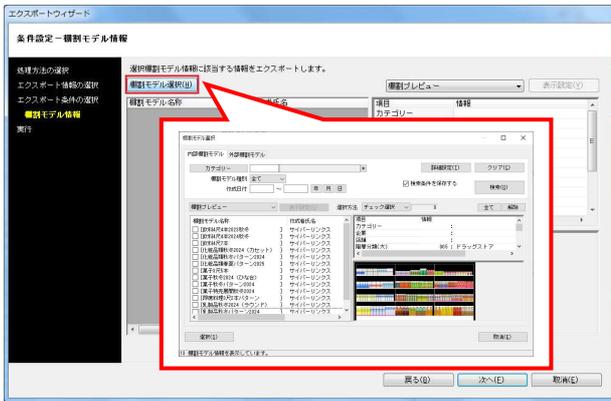


4. [エクスポート条件の選択]より「棚割モデル情報で絞り込む」を選択して[次へ]をクリックします。

[詳細設定]よりエクスポートする際の条件を設定できます
詳細はP. 10を参照してください



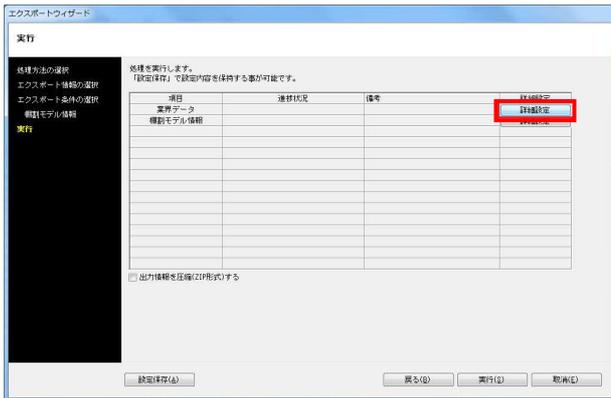
今回は条件を設定せず、初期値で出力します。



5. [棚割モデル選択]から出力したい棚割モデルを選択して、[次へ]をクリックします。

※外部棚割モデルを出力することはできません。
出力する場合は内部モデルに保存する必要があります。

※業界データの出力時には外部モデルを指定しての絞り込みが可能です。



6. [詳細設定]でエクスポートする際の条件を設定します。業界データの[詳細設定]より下記の通り設定します。

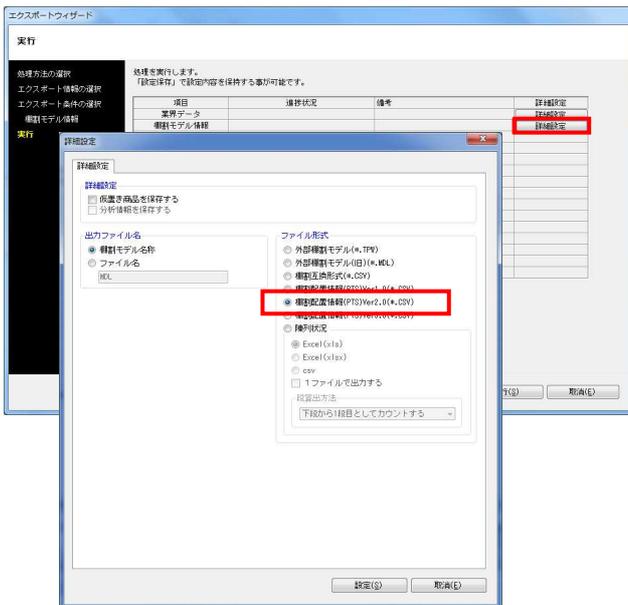
[詳細設定 (1)] タブ

商品情報：有効
業界データの桁数に合わせて出力する：有効
初期値：有効(クリック)

[詳細設定 (2)] タブ

商品画像：有効
商品画像：全情報
(個別設定では出力する商品画像の面を選択)

各項目の設定が完了すれば[設定]をクリックします。



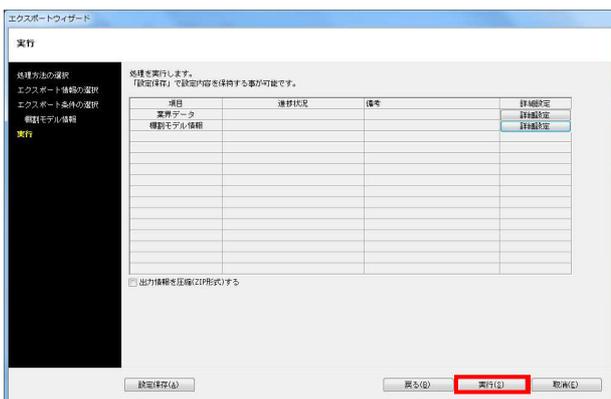
7. 棚割モデル情報の[詳細設定]より、棚割モデル情報をどのように出力するか設定します。

ファイル形式で「棚割配置情報 (PTS) Ver2.0 (*.CSV)」を選択します。

棚割配置情報 (PTS) とは棚割ソフト間のデータ連携を可能にした共通のフォーマットです。
(※詳細はP12「棚割モデル情報 - [詳細設定]」を参照)

※棚割配置情報はバージョンによりフォーマットが異なるため、他社棚割ソフトの対応状況を確認してください。

各項目の設定が完了すれば[設定]をクリックします。



8. [実行]をクリックし、フォルダーの参照画面より出力先フォルダーを指定して、エクスポートを実行します。

これで他社棚割ソフトを使用している取引先でも再現できる棚割モデルと陳列商品のデータが出力できました。

※業界データは特殊な階層で出力されます。
出力したフォルダーの階層を崩してしまうと取り込みに問題が発生するため、フォルダーの階層を崩さないようにしてください。

※「出力情報を圧縮 (ZIP形式) する」を有効にすると、あらかじめ圧縮 (ZIP形式) した状態で出力できます。

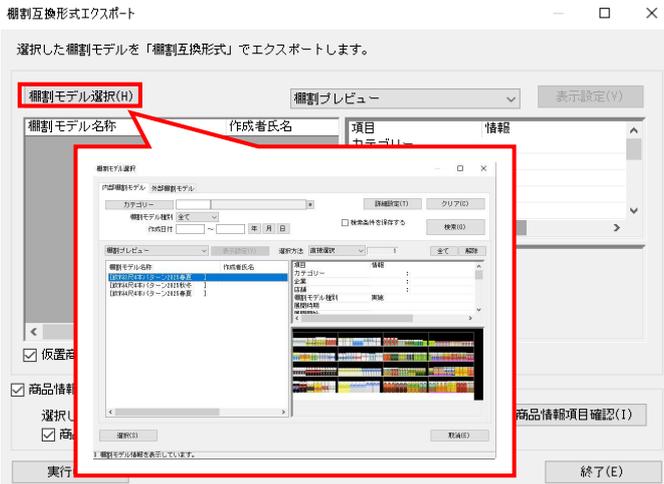
■ 棚割互換形式で取引先に棚割モデルと商品データを渡したい



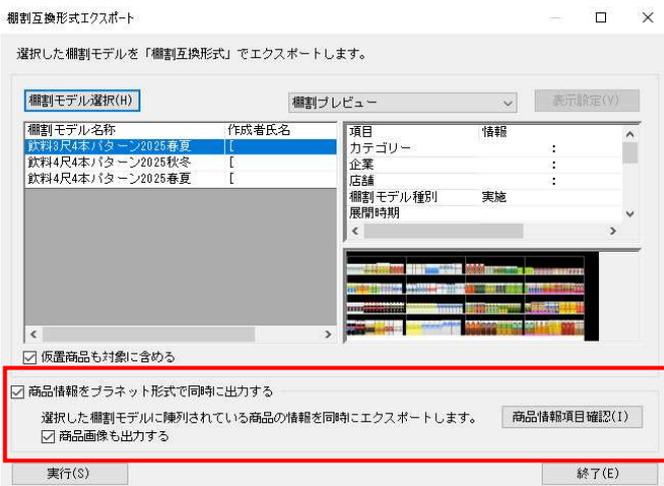
1. 作成した棚割モデルと陳列商品のデータを、より再現性の高い棚割互換形式で渡すことが可能です。

※棚割互換形式とはPTSよりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式です。

[データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。



2. [棚割モデル選択] より出力したい棚割モデルを選択します。

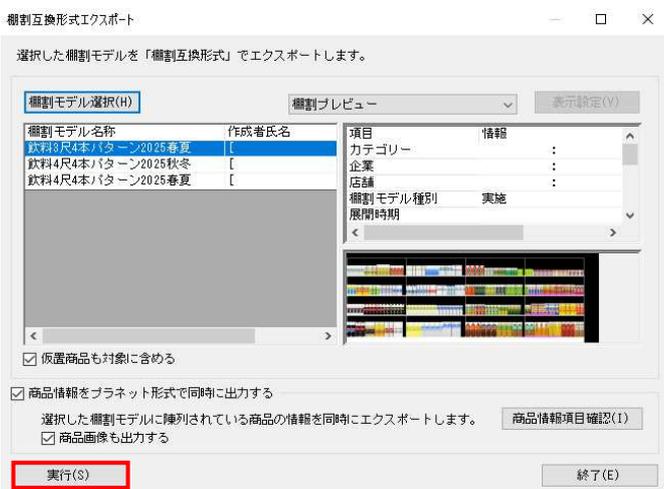


3. 選択した棚割モデルに陳列されている商品データも出力する場合には「商品情報をブラネット形式で同時に出力する」を有効にします。商品画像も合わせて出力する場合は、「商品画像も出力する」を有効にします。

また、仮置情報に陳列されている商品も対象にする場合には「仮置商品も対象に含める」を有効にします。

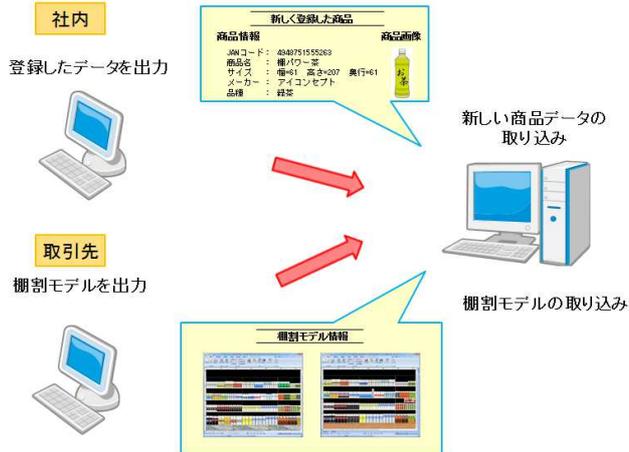
※「商品情報項目確認」ボタンで出力項目の確認が可能です。

一部のATWユーザー様ではご契約上棚POWERから画像出力がいただけないため、棚割互換形式の棚割モデル情報とブラネット形式の商品情報が出力されます。



4. [実行] をクリックして保存先を選択します。

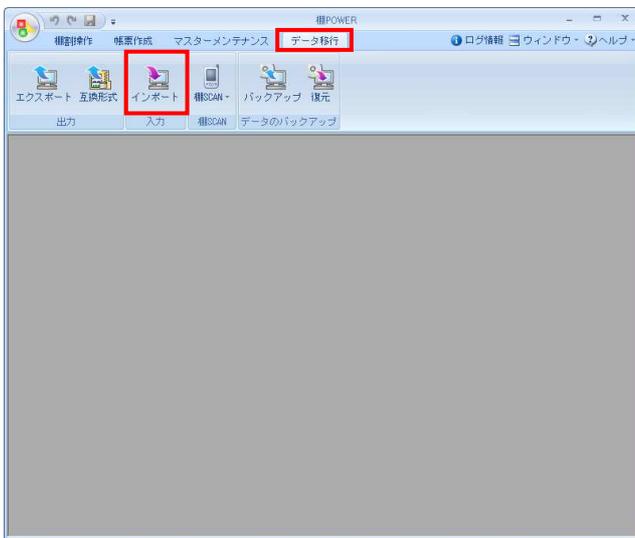
■データのインポート



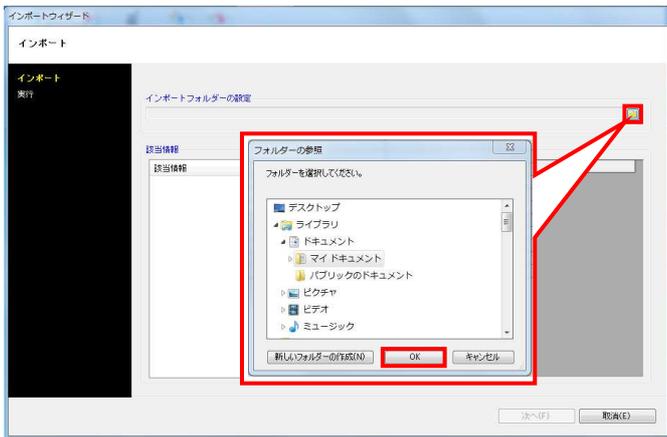
棚POWER に、複数のデータをまとめて入力（取り込み）することが可能です。

社内の他のパソコンから出力した商品情報、商品画像をまとめて入力して登録することや、取引先からもらった複数の棚割モデル情報をまとめて入力し、棚POWER上で棚割を再現することなどができます。

ここでは、P.8で出力した「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」をインポートする手順を説明します。



1. [データ移行]タブ - [インポート]をクリックします。

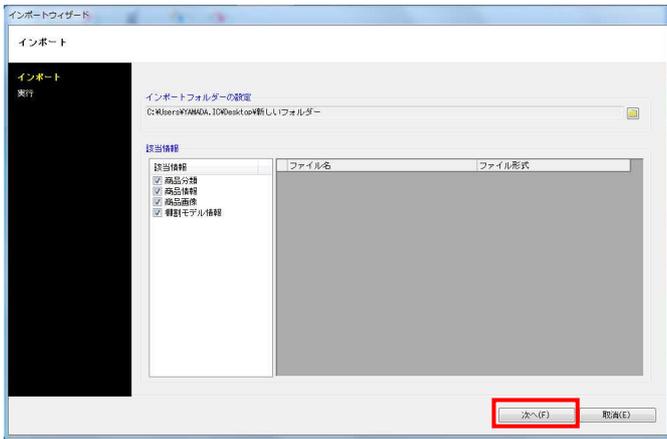


2. インポートウィザードが開いたらフォルダーアイコンをクリックします。
フォルダーの参照より、入力したいデータの保存先を指定し、[OK]をクリックします。

※フォルダーの参照ではファイルは表示されないため、データが保存されているフォルダーを選択します。

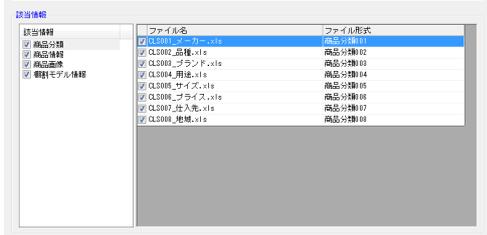
※Excel95以前の形式のファイルはインポートできません。
ログ情報画面で「[95形式ファイル.XLS] Microsoft Excel95形式以前のファイルは読み込めません。」と表示されていれば、ファイルの種類を Excel 上の [ファイル] メニュー - 「名前を付けて保存」より、「Microsoft Office Excel ブック (*.xls)」「Excel ブック (*.xlsx)」などに変更して保存しなおしてください。





3. 該当情報一覧に取込みできるデータ一覧が表示されます。「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」が表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。

※該当情報をクリックすると、右側にファイル名やファイル形式が表示されるので、複数ファイルが存在する場合は取り込みたいデータを有効にします。



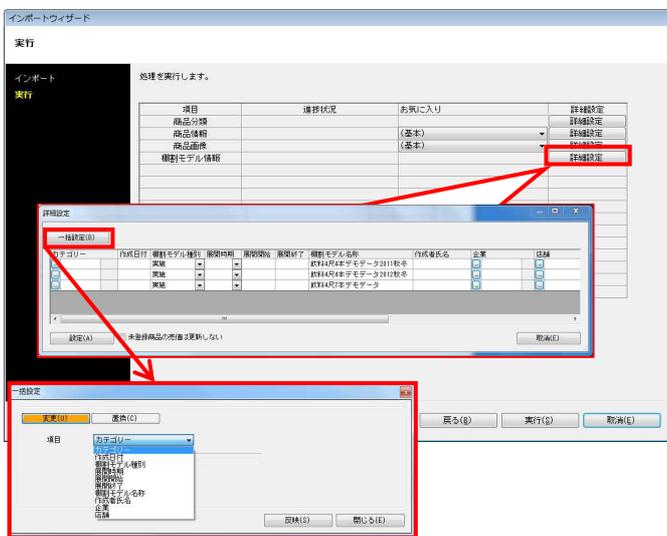
4. [詳細設定]でインポートする際の条件を設定します。各項目の設定が完了すれば[設定]をクリックします。

※各項目の[詳細設定]についてはP. 25～27を参照してください。



5. 棚割モデル情報選択時の[詳細設定]では、棚割モデル名称やカテゴリ、店舗などの基本情報の設定が可能です。

[一括設定]から全モデルを対象に、基本情報の各項目を一括で設定できます。

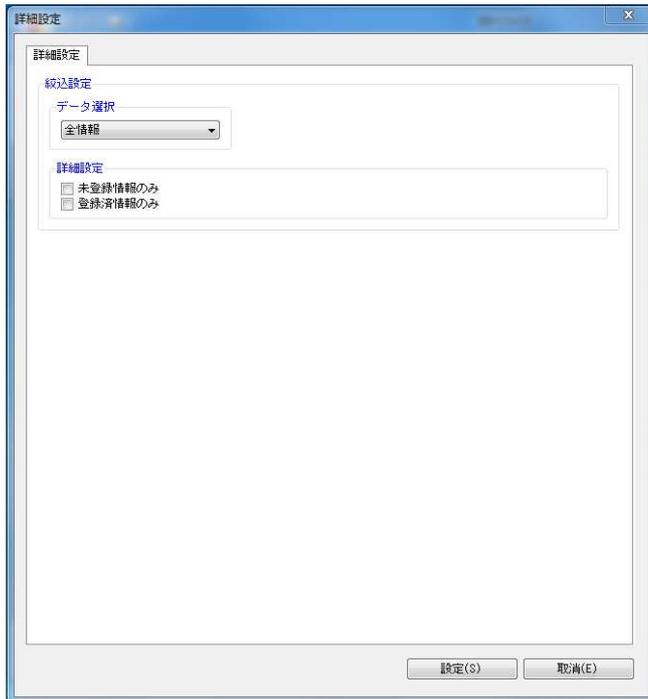


6. [実行]をクリックすると、インポートが開始します。処理が終了すると、「終了しました。本機能を終了しますか?」というメッセージが表示されます。[はい]をクリックして、インポートは終了です。



■インポート実行時の各[詳細設定]内容

商品分類－[詳細設定]



「データ選択」

全情報、有効情報、削除情報から選択できます

「詳細設定」

- 未登録情報のみ
登録のない商品分類のみを追加登録できます
- 登録済情報のみ
既存の商品分類のみを上書き更新できます

上記を共に無効にした場合は、ファイルのデータを全て取り込みます

商品画像－[詳細設定]



「詳細設定」

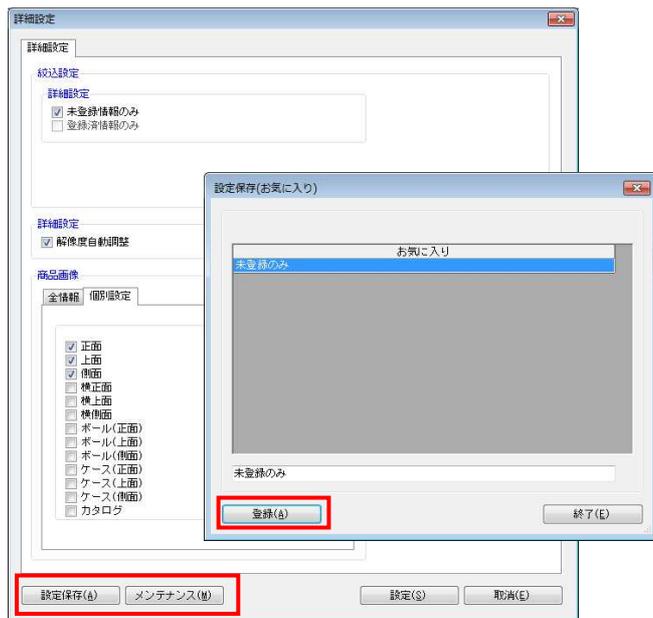
- 未登録情報のみ
登録のない商品画像のみを追加登録できます
- 登録済情報のみ
既存の商品画像のみを上書き更新できます

「解像度自動調整」

有効にすると、棚POWERの環境設定で指定している画像解像度に合わせて画像を登録できます

「商品画像」

- 全情報
全ての登録面を入力できます
- 個別設定
選択した登録面を入力できます



設定した内容を、「お気に入り」として保存することができます

保存した内容は、次回選択して使用することができます

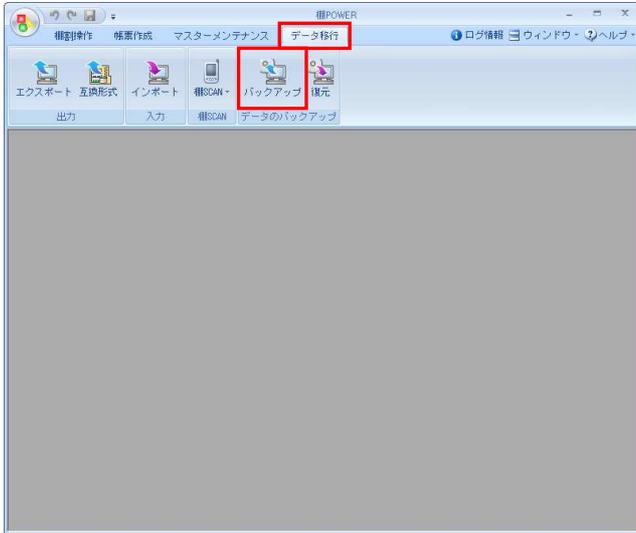
処理を実行します。

項目	進捗状況	お気に入り	詳細設定
商品分類		(基本)	詳細設定
商品情報		(基本)	詳細設定
商品画像		(基本) 未登録のみ	詳細設定

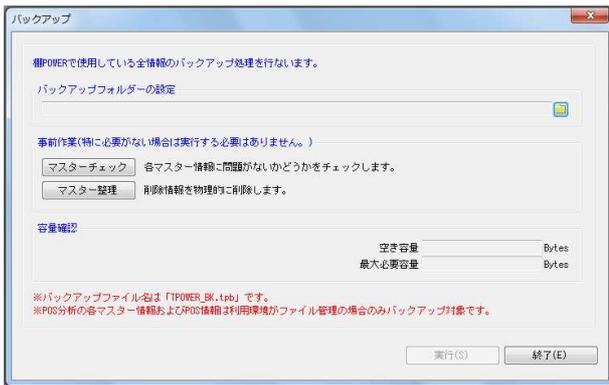
お気に入り
(基本)
(基本)
未登録のみ

■登録している全データを別のパソコンに移行したい

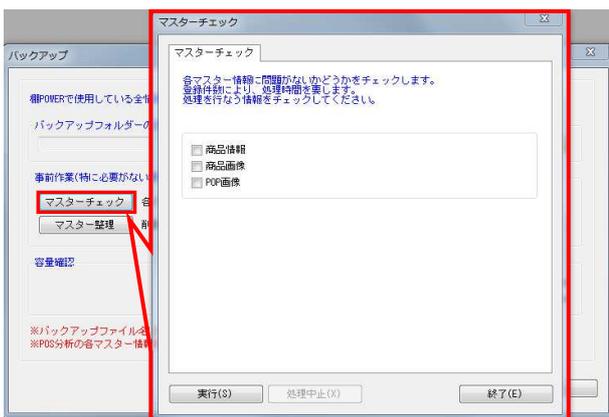
棚POWER に登録している全データは、バックアップをとることができます。
 バックアップデータを復元することで、別のパソコンにも同じデータを丸ごと登録できます。
 棚POWER を使用しているパソコンを新しく入れ替える場合や、担当者が変更になりパソコンが変わる場合などに活用できます。



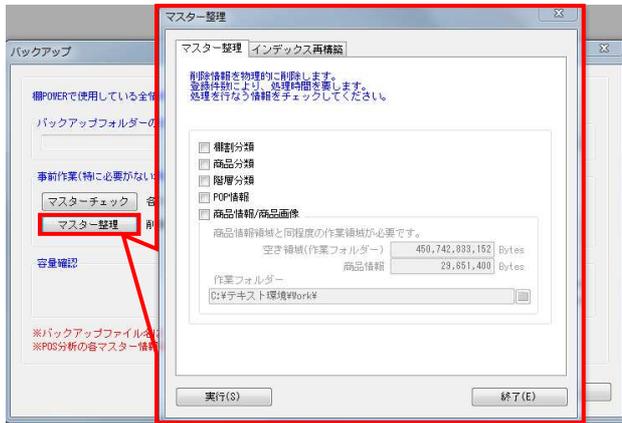
1. [データ移行] タブ - [バックアップ] をクリックします。



2. バックアップデータのファイルをどこに作成するかの設定を行なってから、バックアップ処理を実行します。

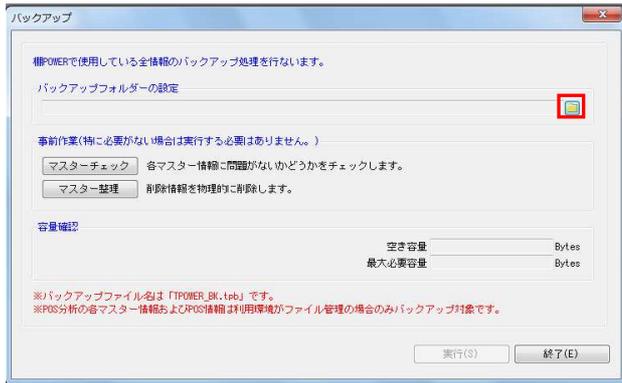


3. 事前に登録している棚POWER のデータに異常がないかを確認するには、[マスターチェック] をクリックし、チェックしたい項目を有効にして [実行] をクリックします。
 (必要ない場合には実行しなくても問題ありません。)

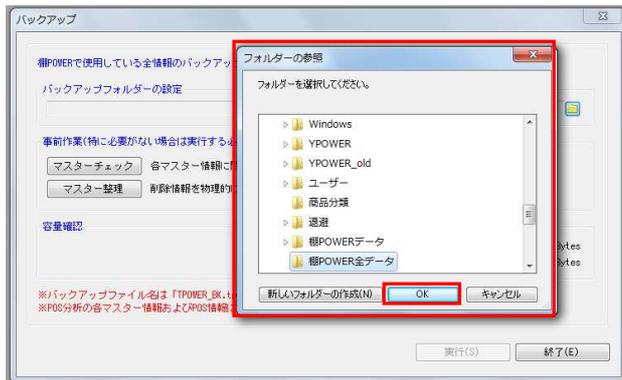


- さらに削除情報を削除してからバックアップを取りたい場合は、[マスター整理]をクリックし、削除したい項目を有効にして[実行]をクリックします。

※ [マスター整理]の詳細に関しては操作マニュアルを参照してください。

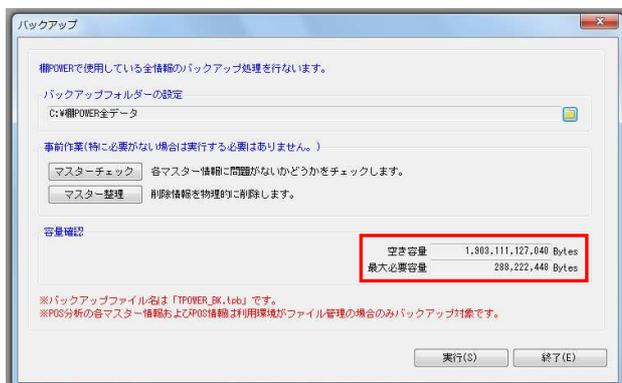


- バックアップデータを出力する場所を指定します。「バックアップフォルダーの設定」よりフォルダーアイコンをクリックします。

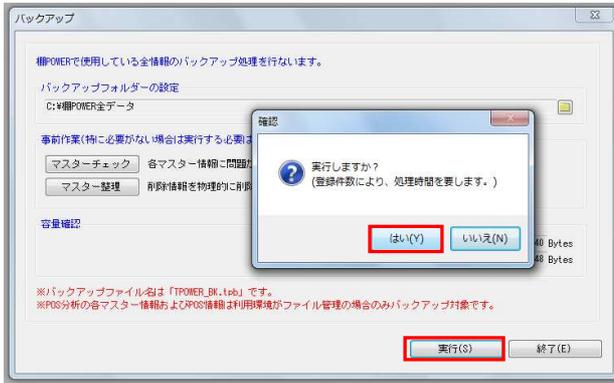


- [フォルダーの参照]より、任意の場所を選択して [OK] をクリックします。

出力先はお使いのパソコン内を指定してください。USBメモリやネットワーク上にも直接出力できますが、出力する速度が遅くなります。



- 自動的に「空き容量」「最大必要容量」が算出されます。「空き容量」が十分であるか確認してください。



8. [実行]をクリックします。
確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。

バックアップ処理が完了すると、「終了しました」と確認メッセージが表示されます。
これでバックアップ作業が完了です。



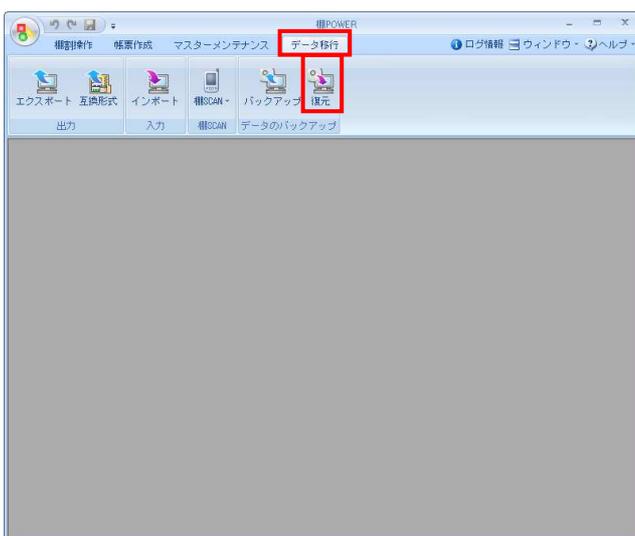
9. バックアップ処理が完了すると、出力先に指定した場所に「TPOWER_BK.tpb」ファイルが作成されます。

「TPOWER_BK.tpb」ファイルをコピー、または移動して別のパソコンに貼り付けます。

この「TPOWER_BK.tpb」ファイルを復元することで、バックアップを取った棚POWERと同じデータ、環境にすることができます。

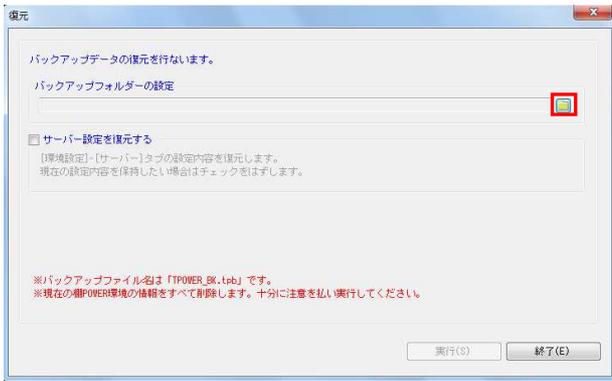
【復元時のご注意】

- バックアップのデータを復元する際、復元するパソコン内の既存の棚POWERデータを初期化するため、既存のデータを残す必要がある場合は実行しないでください。
- 上位バージョンの棚POWERで出力されたバックアップのデータは復元できません。
必ず同じか、もしくは下位バージョンの棚POWERから出力したバックアップを使用する必要があります。
- 「TPOWER_BK.tpb」のファイル名は変更しないでください。



10. バックアップデータを復元します。

[データ移行] タブ - [復元] をクリックします。

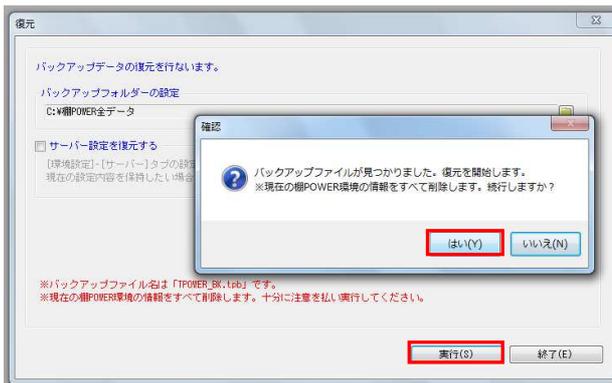


11. 「バックアップフォルダーの設定」のフォルダーアイコンをクリックします。



12. [フォルダーの参照] より「TPOWER_BK.tpb」を保存している場所を選択して [OK] をクリックします。

フォルダーの参照画面では、ファイルが直接参照されないため、ファイルを保存しているフォルダを選択する必要があります。



13. [実行] をクリックします。

確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。

【参考】

サーバー運用を行なっている場合は「サーバー設定を復元する」を有効にすれば、バックアップ処理を行なったパソコンのサーバー設定も含めて復元します。また、環境設定の利用環境で「サーバー」を選択している場合は、バックアップ・復元機能は使用できません。



14. 復元処理が完了すると、「終了しました」と確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。

これで全データの移行が完了です。

以上で「データ移行編」は終了です。

- ※ 棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
- ※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

スペースマネジメントシステム

棚POWER[®]

データ移行編

2025年5月発行（第7版）



発行

株式会社 **サイバーリンクス**
棚POWER サポートセンター